

带状疱疹ワクチンよくある質問



Q1 今年度、带状疱疹ワクチンの助成対象年齢について

⇒令和7年度から令和11年度(5年間)は、経過措置として、その年度内に65歳、70歳、75歳…というように5歳刻みで達する方が接種の対象となりますので、該当になる方へ個別通知をしています。

現在65歳の方であっても、令和7年度中に66歳になる方は対象となりませんのでご注意ください。

60から65歳未満の場合、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方のみ、接種助成の対象となります。

※高齢者インフルエンザやコロナワクチンと異なり、心臓や腎臓、呼吸器の機能の障害があり身の回りの生活を極度に制限される方は該当になりません。

Q2 带状疱疹ワクチンは2種類のワクチンがあります。どちらを選べばよいでしょうか？

⇒それぞれのワクチン(生ワクチン・不活化ワクチン)の効果や副反応をよくお読みになり、医師等とご相談の上、ご自身で決めてください。

Q3 1回目を生ワクチン(ビケン)、2回目を不活化ワクチン(シングリックス)で接種は可能ですか？

⇒生ワクチンは1回で完了するワクチンとなりますので、2回目を受けることはできません。

なお、1回目を不活化ワクチン(シングリックス)で受けた場合、2回目の接種を生ワクチンとすることは定期接種として認められておりません。そのため、2回目も同じ不活化ワクチンを接種してください。

Q4 今までに带状疱疹にかかったことがあります。接種はできますか？

⇒接種は可能です。

带状疱疹は再発する場合もあるので、かかりつけ医と相談し、体調が十分に回復してから接種を受けるようにしましょう。

Q5 今までに、自費でワクチン接種を受けました。この場合は、接種はできますか？

⇒過去に生ワクチン1回または不活化ワクチンを2回受けた場合は原則接種できません。

しかし、不活化ワクチンを1回だけ受けたという場合は、残りの1回分を定期接種として受けることは可能です(その際使用できるワクチンは不活化ワクチンのみとなります)。

Q6 他のワクチンと同時接種はできますか？

⇒かかりつけ医とよくご相談ください。

